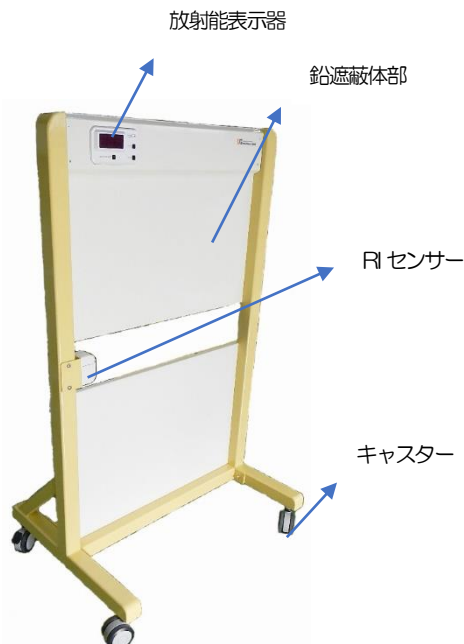


器 1 1 放射線障害防護用器具
一般医療機器 放射線防護用移動式バリア （38373000）

自動投与装置専用遮蔽衝立(Bridgea SHIELD)

【形状・構造及び原理等】

1. 名称及び外観 全体図



2. 寸法及び重量

- (1) 本体（値は標準値であり公差は $\pm 10\%$ である）
寸法：W 約 800mm×D 約 600mm×H 約 1325mm
質量：約 153 kg

3. 電氣的定格

電圧：単相 AC100V
電流：1A
周波数：50/60Hz
機器の分類：クラスⅡ機器
電撃に対する保護の程度：該当しない

4. 名称・機能

名 称	機 能
フレーム	遮蔽体を支える骨格。
遮蔽体	放射線を遮断するため鉛をサンドイッチしたもの。
キャスター	遮蔽衝立を移動又は固定する。
RI センサー	半導体センサーからなり、放射性薬剤が被験者へ投与されたかどうかを確認する。
放射能レベル表示器	半導体センサーからの信号を受け、通過していることを表示する。

5. 原理

投与中及び投与後の被験者からの被曝に対し鉛遮蔽体を置くこと及び距離をとることにより、被曝を軽減すると同時に放射能が被験者の近くにあることを表示する。

【使用目的又は効果】

1. 使用目的

- ①本品は、投与中及び投与後の被験者からの被曝を軽減する。
②放射性薬剤が確実にチューブを通過し、被験者に到達していることを確認する。

2. 効果

- ①投与中及び投与後の被験者からの被曝を軽減する。
②投与した放射性薬剤が確実に被験者に投与されたかどうかを確認できる。

【使用方法等】

- (1) 自動投与装置（Bridgea INJECTOR）の背面側に専用遮蔽衝立をセットする。
(2) 放射能表示器の電源を入れる。
(3) 専用遮蔽衝立背後中央部に被験者が座る。
(4) 注射台に腕を載せ、投与準備する。
(5) 投与ラインのエクステンションチューブの一部を RI センサーの溝に挟む。
(6) 終了後、電源を切る。

【使用上の注意】

1. 本装置の医療従事者に関する注意事項
(1) 使用時はキャスターのロックをかけること。
(2) 使用前に放射能表示器の電源を入れること。
(3) 本品は、防爆性ではないので、可燃物の近くで使用しないこと。
(4) 本器の遮蔽体の許容値：370 MBq までの放射性医薬品に対応可能（遮蔽体部：鉛 10mm 厚）

2. 装置を使用する前には次の事項に注意すること。
使用に当たって、添付文書及び取扱説明書を十分理解後、実施すること。

3. 安全に関する注意事項
(1) 重量物であるため、取り扱いには十分、注意して下さい。
(2) 本装置は放射性薬剤を取り扱うため、放射線管理区域内で使用し、放射線管理区域外では使用しないで下さい。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法
(1) 高温、多湿、直射日光及び水濡れを避けて室温で保管して下さい。
(2) 傾斜、振動等安定性に注意して設置して下さい。

2. 有効期間
保守点検並びに部品を交換した場合：6 年とする（自己認証（当社データ）による）。

【保守・点検に係る事項】

安全により長くお使い頂くために日常点検を行って下さい。又、年に 1 回程度を目安に弊社または、弊社指定のサービス会社より保守・点検を受けて下さい。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：株式会社ユニバーサル技研
住 所：神奈川県小田原市寿町 3-1-7
電 話 番 号：0465-32-5005
FAX 番 号：0465-32-5885

販売業者：PDR ファーマ株式会社
住 所：東京都中央区京橋 2-1-14
電 話 番 号：03-6263-0915
FAX 番 号：03-5250-2712

取扱説明書を必ずご参照下さい。